

しちがはま

No. 156

令和5年8月1日
宮城県七ヶ浜町議会

議会だより

Heart Communication



いつも見守りありがとうございます

特集

町議会って何? 2

補正

子どもが安全に伸び伸びと 5

議案 アクアスタジオ新設 など 6

今後の町の展望について
など 7人が一般質問 8

委員会レポート
これも議会の仕事です 16

町議会 って何？

七ヶ浜町で行ういろいろな事業は、町民みんな集まることは、現実的に不可能なため、町民のび、町議会を組織しています。今年は議員改選

などで決定することが理想です。しかし、全町民が一斉に中から代表者14名(現在は12名)の議会議員を選挙で選の年です。今号では、町議会の仕事や疑問を取り上げます。



会議だけ開催しているの？

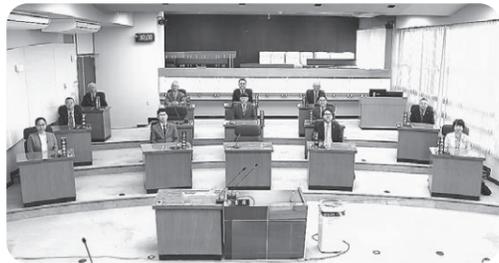
違います。会議の前に議会運営委員会や全員協議会を開きます。その他委員会や、議員研修への参加、勉強会などをそれぞれ行っています。



本会議 (議場で行う会議)

議会の意思を決定する会議です。町の予算や契約、条例(町のルール)を決めます。議会に提出された議案や議会としての意見表明などは、最終的にはすべて本会議で**議決**します。

※**議決**とは…議会の意思を決めることです。



議員全員協議会 (全協)

議員全員が集まって、町の重要な事柄などについて、議員同士、または町と議員が話し合うために必要に応じて開きます。

議会運営委員会 (議運)

議会をスムーズに運営するために、議会運営に関するさまざまなことを話し合い調整する委員会です。

5月の活動

- 5月8日 議会運営委員会
議員全員協議会
議会活性化検討特別委員会
(第1ワーキンググループ)
- 5月9日 総務産業常任委員会
- 5月10日 議会デジタル化推進
プロジェクトチーム会議
- 5月11日 教育民生常任委員会
議会活性化検討特別委員会
- 5月12日 定例会5月会議
- 5月20日 議会報告・懇談会
~21日 (19ページもご覧下さい)
- 5月23日 総務産業常任委員会
- 5月26日 議会運営委員会
議員全員協議会
広報広聴常任委員会広報分科会
- 5月30日 教育民生常任委員会

令和2年1月から会期(議会の開かれている期間・時期)を1年間通じ開催できる「通年議会制度」を導入したので、必要なときにいつでも開催できます。

町議会の会議は、いつ開催されるの？



災害が発生した場合などの緊急時に速やかに必要に応じて会議や委員会が開けるなどのメリットがあります。また、議会活動は会議中のみに限られるなどの制約がありましたが、今はなくなって、いつでも議会活動ができます。

通年議会の何がいいの？



表にまとめました 👁️ 👁️ ↓ ↓

過去1年間で何回会議があったの？



七ヶ浜町議会一年間の会議日程

6月1日	5月12日	3月1日	2月13日	1月6日	令和5年	12月5日	11月21日	10月17日	9月1日	8月8日	6月24日	6月1日
2日	14日	14日	(令和5年議会定例会の会期を決定)	1月6日		6日	6日	14日	14日	6月第2回会議	2日	2日
6月会議	5月会議	3月会議	2月会議	1月会議		12月会議	11月会議	10月会議	9月会議	8月会議	6月第2回会議	6月会議

補正 予算

子どもが安全に伸び伸びと 暮らせる環境へ



園児の安全を万全に

6月会議を、6月1日から2日までの会期で開催しました。令和5年度一般会計補正予算(第2号)は、歳入歳出それぞれ1億6560万円を追加し、総額を74億3608万円としました。主なものは、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金事業費やスポーツ振興くじ助成金などです。

本議案は原案のとおり可決しました。

物価高騰に支援

電力・ガス・食料品等価格高騰
重点支援地方交付金事業の主なもの

水道事業会計補助金(水道料金減免分) **2625万円**

令和5年8月請求分から
3カ月の水道料基本料金が減免されます。

理容・美容事業者物価高騰対策支援事業 **350万円**

1事業者あたり10万円で申請が必要です。

子育て世帯に対する
物価高騰対策燃料券支給事業 **2500万円**

18歳以下の子ども1人あたり
1万円の燃料券が9月ごろに配布されます。

保育施設等に対する物価高騰対策支援補助金 **340万円**

電気料金上昇分が補助されます。

・保育所、幼稚園、認定こども園 50万円×5カ所
・放課後児童クラブ 30万円×3カ所

問 何台分で補助率は、子ども未来課長
答 4台分で、国が示した装置の価格をみると全額補助となる。

●認定こども園送迎用バス安全装置設置補助金(70万円)

質
疑
出
主なもの

問 工事期間中の対応と安全対策は、また、粉じんや防音対策も必要では。
答 教育総務課長 視聴覚室に本を移動し、図書室代わりに利用している。工事中は子どもたちが近寄れないように仕切り

●向洋中学校図書室改修工事(1800万円)

問 貸し出しするボールの個数は、個人やグループが利用する場合の基本的なルールは、
答 生涯学習課長 ボールの個数などは、まだ決まっていない。基本的なルールはないので、譲り合って使ってほしい。

●中央公民館3X3コート整備工事等(3600万円)

歳入
6月会議
一般会計補正予算の主なもの

財政調整基金繰入金	8991万円
総務費・民生費国庫補助金	5636万円
雑入	1833万円
一般寄付金	100万円



教育民生常任委員会

教育、子育て、福祉、保健、医療、衛生などについての調査を担当します。



通学路の安全を調査中です(詳しくは18ページ)

議運以外にはどんな委員会があるの？

総務産業常任委員会

消防防災、農林水産業、観光、道路、財政、上下水道などについての調査を担当します。



説明を受けてしっかり調査

広報広聴常任委員会

議会だよりの作成などによる情報発信をする広報分科会と、議会報告会や、議会活性化アンケートなど、町民の声を聞く広聴活動を行う広聴分科会があります。



編集作業は大変

議会だよりは、広報広聴常任委員会の広報分科会委員の手作りです。詳しくは議会だよりの第153号24ページを見てください。

特別委員会

重要なことを調査研究、話し合うために必要に応じて設置されます。
【予算審査特別委員会、決算審査特別委員会、新型コロナウイルス対策特別委員会、議会活性化検討特別委員会】



どうやったら議会に参加できるの？

議会を傍聴することができます。興味のある方、お待ちしております。会議の予定は町ウェブサイトやSNSに載せるので、ぜひチェックしてくださいね。それから、8月27日(日)は、七ヶ浜町議会議員選挙の投票日です。今は18歳から投票できるので、ぜひ投票してください。

また満25歳以上の七ヶ浜町に住んでいる有権者(選挙権を持っている人)であれば、どなたでも町議会議員に立候補できます。



会議で質問するときのルールはあるの？

あります!本会議では、ひとつのことについて、1人3回まで質問できます。



一般質問とよく聞くけど、どういう質問？

議員が町の現状や将来の方針などを質問することです。議員1人の持ち時間は30分です。(町からの回答時間は含まれません)



町の未来を一緒に考えよう!

5月会議

低所得世帯に対する支援を拡充

5月12日に5月会議を開催し、一般会計補正予算など審議しました。

補正予算

●一般会計補正予算(第1号)

令和5年度の一般会計予算に、歳入歳出それぞれ6047万円を追加し、総額を72億7047万円とするものです。

●電力ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業(4746万円)

特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯など)に対して、1世帯当たり3万円の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金を支給するものです。

質疑

問 物価高騰により、家計負担が大変に増えている。速やかな支給が望まれるが、今後のスケジュールや支給予定が7月下旬となる根拠は。

長寿社会課長 令和5年度の課税状況を基に対象者を確認することになっている。6月中旬に課税情報が確定となり、6月下旬に非課税世帯の方に通知を送る予定である。その後の支給になるので7月下旬の支給となる。できるだけ速やかに支給したいと考えている。

質疑

問 物価高騰により、食料品の価格が高騰している。食べ盛りの子どもたちのために、支給対象者以外にも、町独自の支援を行う考えは。

子ども未来課長 今回の事業は、国の給付金支給要綱に基づき支給するものである。町独自には実施はしない。

採決の結果 反対なく全会一致で可決



賛否が分かれた議案

定例会5月会議 提出議案採決結果一覧(5/12)

Table with 12 columns (Proposal Name, Page, Support, Oppose, Decision, Council Members) and 1 row for '七ヶ浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例'.

定例会6月会議 提出議案採決結果一覧(6/1~2)

Table with 12 columns (Proposal Name, Page, Support, Oppose, Decision, Council Members) and 3 rows for various proposals including disaster relief and budget adjustments.

○賛成 ●反対 欠 欠席 議長は採決に加わらない。

アクアスタジオが新設され利用再開

議案審議



多目的に使えるね!

質疑

問 新たに整備されたアクアスタジオは、多用途で使えるとのことだが、個展などで荷物を置く場合の利用料金は。

生涯学習課長 準備や片付けなどで占有された時間として利用料金が発生する。

質疑

問 アクアスタジオが1時間440円で、フットネススタジオの2時間550円と比べると割高に感じるが。

利用料金は相対的に定めたもので、公共施設としては中央公民館の大会議室と同様で安い部類というつもりで設定した。

質疑

問 町民への周知は。

町民生活課長 まだ国から通達がなく、仕様も示されていない。内容がわかり次第、対応を検討したい。

条例改正

●七ヶ浜健康スポーツセンター条例の一部改正

七ヶ浜健康スポーツセンターの改修に伴い、新たに創設した施設の利用料金を定め、併せて設備利用料金の諸般の見直しを行うものです。

財産の取得

●文書系サーバー機器及びクライアントパソコン等一式

令和5年定例会3月会議で議決した、繰越明許費の文書系サーバー機器およびクライアントパソコン等一式購入事業です。

人事

●校務支援システム及びクライアントパソコン等一式

令和5年度一般会計で予算措置した、校務支援システムおよびクライアントパソコン等一式の購入事業です。

請願

●「生活環境改善についての請願

今定例会に提出された1件の請願は総務産業常任委員会に付託しました。

請願

遠山行政区代表区長 阿部 由一



公約は実行されたか

町長 道半ばだが取り組んできた

問 震災から約12年が経過し、コロナ感染症も2類相当から5類に移行された。今後はポストコロナなど時代に合った政策展開が望まれる。

答 町長 最優先課題の復興事業は、ながすか多目的広場が令和2年度に完成し、ハード面の復興事業が完了できた。その矢先に、コロナ感染症が猛威を振るい、各種事業の中止などや小中学校では臨時休校措置を余儀なくされた。町民生活はもとより、経済活動に至るまで大きな影響と制約を受けた。この3年にも及びコロナ禍で、施策は道半ばではあるが、状況を見極めながら臨機応変に取り組みを進めてきたと思っている。

問 町を維持するため特に重要なのが少子高齢化対策だと思ふ。町長が感じる要因や解決策は。

答 課題は、子育てをする女性が少ないことや町内になかなかとどまっていただけなことだと思ふ。その要因は、雇用面や住居などで、圏域の女性の数が少なくなり、それに従い子供たちが少なくなっている。質の高い教育を進めながら、この町で子育てをしたいと思っていただけのような環境づくりに取り組んでいきたい。

問 メディアやSNSなどを活用し、積極的にPRする必要はあると思ふ。

答 質の高い教育を中心「子どもを教育するのであったら七ヶ浜にきてください」と言えるように頑張っていきたい。



少子高齢化に歯止めを

問 ポストコロナ政策として、観光客が立ち入りづらい漁業現場の体験ツアーを造成する取り組みへの支援をして、地元旅館業と水産業の方々と連携を図っていたため、お互いが有益となる事業を提案し、さらに支援する考えはないか。

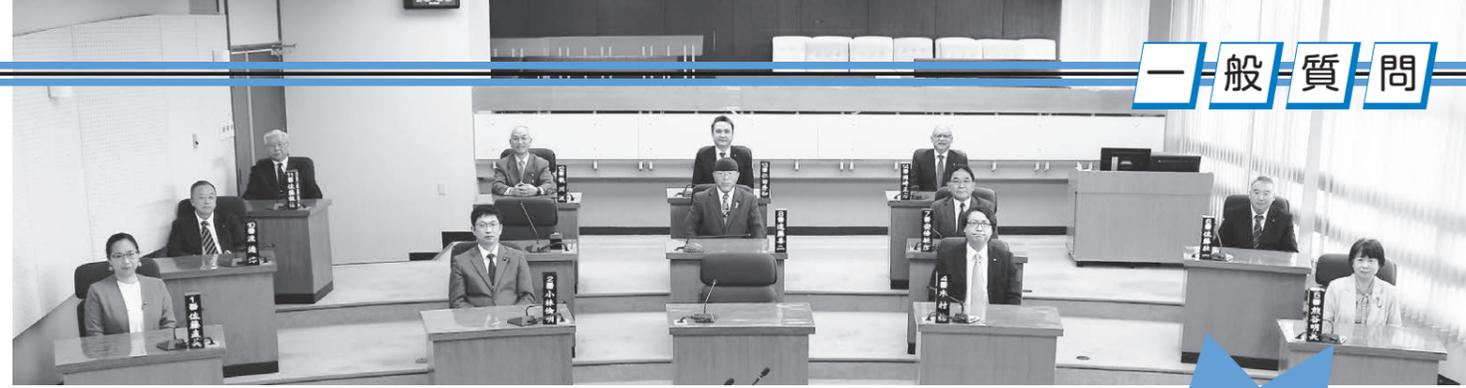
答 産業課長 花洲浜地区で、商店の事業主が体験型の観光施策を講じるといった動きがある。町としても漁協など可能性を探り、可能であれば実現に向けて取り組んでいきたい。

問 町道整備時に、歩道のバリアフリー化を図る考えはないか。

答 町長 県道で実施している、視覚障がい者誘導用ブロック設置などは、復興事業で整備はしたが、その施設以外はほとんど設置されていない状況である。今後は、歩道などの大規模な改修の際に検討していきたい。

問 本町のデジタル推進策やChatGPT導入の考えは。

答 DX推進計画を昨年度策定した。今後、健康保険証となることを踏まえ、申請サポートや電子申請手続きの拡充を進めていく。ChatGPTは、横須賀市や仙台市などが先進的取り組みを進めている。今後、活用事例や業務効率化の実証成果を注視していきたい。



一般質問一覧表

6月会議の一般質問は、1日と2日に行い、7人が活発な議論を展開しました。内容は質問者の原稿を原文に近い形で9ページから15ページに掲載しています。なお、タイトルは通告のとおりです。

仁田 秀和 …… 9ページ

- 今後の町の展望について

遠藤 喜二 …… 10ページ

- 津波ハザードマップについて
- 町のPR動画の利活用について
- ピーチクリーンの仕上げ確認と検証と反省点と改善策について

熊谷 明美 …… 11ページ

- 公共施設に「赤ちゃんの駅」の設置を
- 物価高騰対策は

佐藤 壮一 …… 12ページ

- 東宮ふ頭周辺の住民への健康について
- 危険傾斜地の規制緩和について
- 区長手当の増額について

歌川 渡 …… 13ページ

- 「七ヶ浜町営住宅家賃減免及び徴収猶予事務取扱要綱」に基づく、2023年度で対象となる入居世帯への対応と実績について
- 高校生等通学者の町民バス「ぐるりんこ」の運賃を無料に
- 中田団地から菖蒲田浜地区町営住宅前交差点間の町道に車道との境界(けいかい)ブロックの設置を

渡邊 淳 …… 14ページ

- 改正地球温暖化対策推進法とエネルギー策について
- 住宅政策マスタープランについて

佐藤 直美 …… 15ページ

- 男女共同参画事業について
- 野外活動センターの整備・管理計画について

※傍聴される方には、一般質問の要旨が記載されている資料を配布しています。

ズバリ 町政を問う

しちがはま議会だより第155号17ページの、佐藤壮一議員の一般質問の題名について誤りがありましたので、関係者の皆様にお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。(17ページ上段：題名に対する町長回答要旨)

正 町長：県に改善するよう求める
誤 町長：今後、町観光協会と協議したい



くまがい あけみ 熊谷 明 美

「赤ちゃんの駅」の設置を

町長 必要性を考慮し検討したい

問 役場庁舎に授乳室があるとのことだが、場所はどこか。

答 子ども未来課長 相談室の一角である。要望があった時に案内している。

問 他の自治体と比べて、設置場所が少ない。特に授乳ができる場所が少ないが、設置を進める考えは。

答 必要性を考慮し、検討したい。

問 「赤ちゃんの駅」とは、乳幼児を抱える保護者の子育てを支援する取り組みとして、外出先で、誰でも自由におむつ替えや授乳ができるスペースのことをいう。町民だけでなく、町外から訪れた方も、安心して利用できる「赤ちゃんの駅」の設置場所は。

答 町長 役場庁舎や中央公民館、子育て支援センターで、国際村はおむつ替えのみができる。

問 利用したくても、分りづらいのでは住民サービスにならない。「赤ちゃんの駅」事業を実施し、公共施設や民間施設に、のぼり旗やステッカーを設置して利用しやすい案内をする考えは。

答 財政課長 サイン表示を考えた。



安心して授乳できる場所を(多賀城市ホームページより)



問 ホームページなどで、おむつ替えや授乳可能な施設一覧を載せることで、分かりやすく、利用しやすくなると思うが。

答 子ども未来課長 ホームページや子育てポータルサイトで対応したい。

問 ハザードマップでは汐見台3丁目には浸水区域外となっている。10mの津波が来れば遡上して汐見小学校方面に向かう。七浦堤も冠水する。町民をないがしろにした図面ではないか。見直しの考えは。

答 今後さまざまな条件が加わり想定が変わつたら、見直しを迅速に対応する。

問 ワクチン接種会場で七ヶ浜を再認識していただく思いでモニターを設置してもらったが21インチと画面が小さく暗く音も出ていなかったがどうか。

答 指摘があったので、46インチのモニターを設置した。

問 災害避難時や町のイベントなどで、利用できる移動式「赤ちゃんの駅」を導入する考えはないか。

答 町長 災害時は問仕切りや個室スペースを作るテントを活用してほしい。イベントの際は、開催施設を利用して対応してほしい。

問 幼稚園や保育所、認定こども園の給食原材料高騰分を支援する考えはないか。

答 幼稚園などに聞き取りを行ったが、対応がさまざまであった。原材料高騰支援に替わる事業として、補助金交付事業や子育て世帯へ燃料券の支給事業で負担軽減を図りたい。

問 町長 国や県の動向を注視しながら有効な支援策を考えたい。

問 エネルギー価格や飲食料品を中心とした物価高騰が町民生活に大きな打撃を与えている。物価高騰から町民の暮らしを守る早急な対策が必要である。これまでより対象店舗や対象商品を拡充した「生活応援券」や「割増商品券」を発行する考えは。

答 町長 国や県の動向を注視しながら有効な支援策を考えたい。

問 LPガス料金軽減の支援策は。県に対策をアピールする考えは。

答 取り扱っているLPガス販売事業者が、町内のみならず、県内の広範囲にわたっているため、支援が行き届かない可能性がある。今後も県の支援策の情報収集に努めたい。

物価高騰対策は 国や県の動向を 注視したい

町長



えんどう よしじ 遠藤 喜 二

ハザードマップの見直しは

町長 迅速に対応する

問 津波ハザードマップでは、13カ所の避難所が浸水の恐れがあるとされている。どのように作成されたのか。

答 町長 町は、県が想定した悪条件を加味した津波シミュレーションをもとに作成している。

問 ハザードマップでは汐見台3丁目は浸水区域外となっている。10mの津波が来れば遡上して汐見小学校方面に向かう。七浦堤も冠水する。町民をないがしろにした図面ではないか。見直しの考えは。

答 今後さまざまな条件が加わり想定が変わつたら、見直しを迅速に対応する。

問 防潮堤内に溜まった海水の排水方法は。強制排水は仮設ポンプで行う。電源供給者と発電業者には災害時には優先的に提供してもらう協定を締結している。排水方法は今後も検討していく。

町長 活用して観てもらいたい

もつと町のPR動画の活用を

問 以前から町のために作成してもらっていた方の遺作の動画がある。今後町のPR動画としての活用は。

答 国際村や生涯学習センターなどで見てもらいたい。

問 ワクチン接種会場で七ヶ浜を再認識していただく思いでモニターを設置してもらったが21インチと画面が小さく暗く音も出ていなかったがどうか。

答 指摘があったので、46インチのモニターを設置した。

ビーチクリーンの作業確認は

町長 立ち合いし万全にする



ふるい式のビーチクリーナーがほしいなあ

問 町では、業者のビーチクリーン後の作業確認を行っているのか。

答 町長 確認はしている。清掃時には立ち合いをし、確認を万全にする。



さとう しょういち 佐藤 壮一

土曜日の荷役作業中止を

町長 県に働き掛ける

問 一昨年5月ごろ、東宮浜在住の高齢者の方が、気管が悪化して入院した。粉しんとの因果関係があるのかと心配しているが、荷上げしたコンクリート砂利に有害物質が入っているのか。

答 町長 通常のリサイクルコンクリートで、アスベストなどの有害物質は含まれていない。

問 粉しんを吸い続けるような病気になるのか。

答 長年大量に吸い続けるとしん肺を発症する。肺が固くなり機能しなくなる。

問 土曜日の荷役作業を中止できないか。

答 埠頭のルールがあるが、県に働き掛ける。

問 通学時間帯のダンブ搬出の往來を中止できないか。

答 町民生活課長 県に要望を伝える。

危険な急傾斜地の規制緩和を

町長 県に要望を伝える

問 町内の急傾斜地は何箇所か。

答 町長 48カ所である。

問 急傾斜地の要件は。

答 高さの基準は5m以上で、角度は30度以上、人家5戸以上である。

問 そのほかの基準はあるのか。

答 官公庁や学校、病院、避難所などである。

問 要害小畑地区4戸と代ヶ崎浜西地区4戸で、整備工事の要望があるか。

答 県に要望する。

区長手当の増額を

町長 協議していく

問 多様化する社会状況の中で、地区のために働いている区長の手当を増額する考えは。

答 町長 条例で定めている。

問 見直す考えはないか。

答 今後協議していく。



90度に近い急傾斜地



うたがわ わたる 歌川 渡

すべての家賃減免対象世帯が申請・承認される体制を

町長 理解できるような文書を検討したい

問 対象世帯に対する事務取扱要綱の周知方法は。

答 町長 対象となる一般入居者に対し、令和5年2月に発送した収入額認定兼家賃月額通知書に家賃減免申請書案内を同封し、周知している。

問 同事務取扱要綱に基づく、減免など対象となる地区別世帯数は。

答 松ヶ浜地区9世帯、菖蒲田浜地区18世帯、花洲浜地区15世帯、代ヶ崎浜地区が8世帯、吉田浜地区の対象世帯はない。合計50世帯。

問 同事務取扱要綱に基づく、直近の地区別減免など申請済世帯数と減免認定世帯数は。

答 花洲浜地区、代ヶ崎地区はともに申請3世帯。承認も3世帯。松ヶ浜地区は申請なし。合計申請12世帯、承認11世帯。

問 対象世帯の年齢層および平均年齢。

答 町長 対象50世帯の平均年齢は35・6歳。

問 未申請世帯に対する周知は。

答 未申請世帯への再通知はしていない。

高校など通学者の町民バス運賃を無償化に

町長 現行の運行体系を維持していきたい

問 近年の高校進学率は。

答 町長 七ヶ浜中学校、向洋中学校の卒業者は本町の3カ年平均の高校進学率は99・58%となっている。

問 令和4年度、本町の高校通学者数は。

答 町長 1年生から3年生（1年生から3年生）77人となっている。

問 高校通学者の町民バス利用者は。

答 町長 令和4年度実績で1356人、令和3年度実績で1283人。

問 学生定期券（フリーパス）料金設定の算出根拠と事業要項は。

答 平均運賃片道200円を基に試算し、往復で30日使用した場合の50%の金額。3カ月はさらに割引率を大きくし、45%とした。事業要項は本町の町民バスは、民間事業者が運行しており、町として事業要項は定めていない。

問 学生通学者の実運賃収入額と学生定期券料金に伴う町負担額は。

答 乗車区間および実運賃収入は把握していない。

中田地区から菖蒲田浜町営住宅間に境界ブロック設置を

町長 区長や関係者と意見を聞き、対処したい

問 境界ブロックを設置していない理由は。

答 町長 中田地区の造成工事に伴う復興交付金事業の雨水排水施設整備事業として、排水の延長370メートルを整備した箇所の一部。140メートルをふた付き側溝の幅広型として、歩行者に配布した整備をした。

問 歩行者の安全確保のために、設置の考えはないか。

答 歩行者の通行にどのような安全対策がよいのか。地区区長や関係者の話を伺い、考えていきたい。

問 無料化する考えはないか。

答 利用者の皆さまに負担いたいただきながら、現行の運行体系を維持していきたいので、ご理解をいただきたい。



境界ブロック等設置し、通学路に指定を



わたなべ あつし
渡 邊 淳

改正温対法は新施設に考慮か

町長 各課連携し対応する

問 正地球温暖化対策推進法(改正温対法)は、2030年までの新目標2013年比46%減、さらに2050年まで80%減と閣議決定された。改正温対法の対応は新たな施設に考慮されるのか。

答 町長 温室効果ガス削減の統一的な基準はないが、新たな施設の新築や大規模改修を行うときは地球温暖化対策として、できるだけ環境に配慮検討し取り組む。

問 事業を抱えている各課に法の浸透はされているのか。

答 町民生活課長 横断的に取り組まなければ効果がないので今後気を付けて進めていく。

問 温暖化対策と環境は関連する、みどりの基本計画の策定は、

答 町長 基本計画は、みどりの基本計画は、都市計画区域内における緑地の保全緑化の推進で、都市緑地法4条に規定されている。法的義務はなく、県内は仙台市ほか4自治体が策定している。現時点では策定の予定はないが、地球温暖化対策には緑地の保全は重要。最近では菫蒲田浜海浜公園や表浜地区では、企業ボランティアが善意により植樹活動を行っている。公園などの緑地の保全に努めていく。

問 前述を踏まえ区域施策編は作成するのか。

答 区域施設編作成の法義務はないが、仙台市を含め4市の作成成果や具体的な成果など状況について調べる。

問 町有地や廃棄物処理場、ため池などを活用する再生可能エネルギーの誘導策は考えられるのか。

答 町長 水上設置型太陽光発電やバイオマスなど技術革新は早い。誘導策はないが民間の動向を見ながら対応検討する。

問 ブルーカーボンの促進策は、

答 ブルーカーボンは、二酸化炭素吸収方法で藻類により取り込まれる。持続可能な水産業の確立に向け、水産業基本計画の中で、重点プロジェクトとして宮城ブルーカーボン協議会を発足し藻場ビジョンを作成した。漁場ビジョンと合わせ石巻沿岸をモデルとして実施する。藻場の再生や保全を進めていくので注視していく。

問 海域調査を定期的に進められないか。藻場ビジョンの範囲に菫蒲田は入っていないが、ほかの藻場も含み観測できないか。

答 産業課長 昨年度県事業で、水産振興協会が松ヶ浜の人エリーフ周辺を調査をしているため継続をお願いしている。

住生活基本法で低廉住宅を

町長 他の例を見る

問 住生活基本法が平成18年制定されている。人口は微減、公営住宅の家賃低減策の期限も迫る。市街化区域の空き家は課税を見直せば促進される。調整区域は不動産の流動化は進まず空き家が増える。住生活基本計画法を作成し、地区の特性をくんだ計画にすることで、調整区域の既存住宅は生かされる可能性があるか。

答 町長 今までの都市計画マスタープランや用途地域制限の議論ではなく、住宅マスタープランのビジョンとしてやる方法もありそうなので詳細は調べてみる。

のよりどころをつくり、空き家対策や安価な公営住宅を確保する解決策の一つとしてはどうか。

答 町長 今までの都市計画マスタープランや用途地域制限の議論ではなく、住宅マスタープランのビジョンとしてやる方法もありそうなので詳細は調べてみる。



太陽光発電の下で営農

問 男女共同参画は、町の政策としてさらなる明確な取り組みを行う必要がある。町の考えは、

答 教育長 令和4年3月に、しちがはま男女共同参画プラン2022-2026を策定し、男女共同参画社会の形成の促進に関し、5つの基本目標を掲げている。

①地域社会全体における男女共同参画の実現
②家庭生活における男女共同参画の実現
③学校教育における男女共同参画の促進
④職場における女性の活躍推進
⑤防災における男女共同参画の実現

男女共同参画社会基本法の理念は、男女が互いにその人権を尊重しつづき責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現にある。実現に向け普及啓発事業を中心とした各種施策を展開していく。

問 プランには、取組内容や指標などを載せているページがあるが、目標値の記載がほぼなく何をどのように進めるのか、どの課が担当課なのかの記載もない。具体的に何を行うのか。

答 生涯学習課長 具体的に何をやるか記載されていないので、指標も合わせて皆さんが分かるような形で表記する。関係課も多岐にわたるので、各課とも十分に調整しながら本年度中に公表する。

問 公表や啓発はどのように行うのか。ホームページへの掲載や、中央公民館のロビーに設置するだけでは十分とは思えないが。

答 幅広い年齢層の方々にとって理解しやすいように、ホームページに掲載だけでなく、町広報誌に特集を組む。理念なども再認識していただけるよう、事業として取り組んでいく。

3×3コートの設置は

教育長 整備を予定している

問 野外活動センター内にドッグランや3×3コートの設置、キャンプ場、旧アーチエリー場の整備管理計画は、

答 教育長 3×3コートはスポーツ振興宝くじの補助金を活用し、スケートボード場の隣にある健康広場の一角を利用し、令和5年度完成をめどに整備する。キャンプ場は引き続き適正な管理運用を行う。

昭和54年度に社会体育施設整備事業補助金を運用しアーチエリー場や相撲場、アスレチックなどの整備を行った。44年が経過し、補助金などにかかる予算執行の適正化に関する法律の処分制限期間に定める24年を超えているので、解体に制限はない。アーチエリー場や相撲場を新たな施設として活用することは、社会教育施設として位置づけられ

ている範囲内において可能である。

ドッグランは、現時点では跡地活用の候補としては考えていないが、体育およびレクリエーション活動、文化的教養を高め得るような環境の醸成、生涯学習の進行など、町民あるいは利用者の声を踏まえ、幅広い検討を進めていく。

ていく。

男女共同参画の目標値は

生涯学習課長 本年度中に公表する



さとう なおみ
佐藤 直美

幅広い年齢層の方々にとって理解しやすいように、ホームページに掲載だけでなく、町広報誌に特集を組む。理念なども再認識していただけるよう、事業として取り組んでいく。



3×3コート整備予定地

委員会レポート これも議会の仕事です

議会 活性化

主な意見は
次のとおりです。

歌川 渡

・議員定数と議員報酬は関連させて考えるべきではない。
・議員報酬は議員活動への対価としての報酬であつて、生活給ではない。
・時期尚早なので、1年や2年、じっくり検討するべきであり、次期議会に引き継いで、今回は最終するべきである。

佐藤 梶信

・議員報酬は、なり手不足の原因として議員の生活が保障されていないからと考える。ただし、財源がないので定数の削減が必要となつてくると考える。

渡邊 淳

・定数と報酬は切り離して考えるべきである。
・定数は14人で現状維持がよい。
・報酬に関しては、今後議員の活動の内容が増加すると考えるので、議員報酬増を考えていくのも一つの方法。
・報酬を上げるのが最優先。

遠藤 喜二

・報酬と定数は別に考えるべきである。
・議員定数の減は少数弱者の意見を封じることになる。議員の力が弱まり行政の力が強まる。また、定数削減は、女性議員を増やそうとする動きに逆行している。
・報酬は、町民からの意見を求めなくてはなら

安倍 敏彦

・定数と報酬は別物である。定数を2議席減したときに報酬を上げるべきであつた。
・議員報酬だけでは生活が困難。報酬は生活できる水準に。

佐藤 壮一

・なり手不足の原因は生活ができないこともあると考えられるので、報酬は、値上げした方がいいと思う。
・もう選挙が迫っているので、新しい議員で継続的に協議するべきと考える。

熊谷 明美

・東北大学の河村准教授の講義でも、町村議員報酬が少ないという話があつた。通年議会などで仕事をしながらの議員活動は難しい環境である。若い人たちも今の報酬で生活をしなければいけない状況である。報酬は生活に密着している。議員年金もなくなった。報酬はなり手不足の大きな要因の一つであり、将来を見据えて報酬を決めていく必要がある。

小林 倫明

・議会活性化を進めている中で、定数の削減は議会の衰退化を招きかねない。議会の間口を広げ意見の多様化のために議員の検討も必要である。
・現状は、比較的時間に余裕がある職業や資産を持つている人しか候補できない。立候補において、職業や資産に左右されないようにするために報酬の増額が必要である。

佐藤 直美

・定数と報酬の問題は別として考えていかなければならない。
・議員報酬だけでは生活できないのが町の実情であり、なり手不足の要因であると考え、報酬はアップをして、議

員定数は多様な意見を行政に伝えるために、14名で維持するべきである。
・報酬は給与とは違つていつか、20代から40代の人々が通年議会に対応して議会活動をして、生活していくには難しい。
・0歳から100歳代までの住民がいるのに、60代70代しか議員になれないような環境を変えていかなければならない。

・活動の見える化を進めながら報酬を上げ、それに見合った活動をしていくように進める必要がある。
※委員長(仁田秀和)は、議事進行のため中立的立場なので掲載しておりません。



なり手不足の解消策を模索

	歌川 渡	佐藤 梶信	渡邊 淳	遠藤 喜二	安倍 敏彦	佐藤 壮一	熊谷 明美	木村 稔	小林 倫明	佐藤 直美	採決結果	反対	賛成
特別職給料等審議会へ諮問することについての採決結果	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	3	6

議員定数および議員報酬について

議会の活性化や議員のなり手不足の解消策などを図るために、これまで通年議会の導入や議会デジタル化、議会基本条例などを協議してきました。その中で、前回選挙が無投票だったことや議員のなり手不足の解消策の一つとして、議員定数および議員報酬を議論する必要があると判断されたことから、当委員会でも協議しております。今後の進め方を協議するにあたり、全委員より定数および報酬の意見を聞きましたので左記に掲載します。

報酬増へ 特別職給料等審議会の開催を依頼

諮問の内容

議会活性化を進めている中で議員の活動量が増えているのが現状であり、議員は議長との活動量が同等であることから、議長報酬30万2千円がベースとなるべきである。

議会活性化を進めるために、七ヶ浜町議会議員としての役割と職責の重さにふさわしい報酬額となるよう見直す必要がある。

また、参考資料として、全国町村議長会が令和4年2月に発表した「議員報酬・政務活動費の充実に向けた論点と手続き、住民福祉の向上を実現する町村議会のための条件整備」を添付し財源根拠とする。

委員からは、議員定数と議員報酬は別に考えるべきという意見が多数ありました。そのことを踏まえ、報酬の結論を出すためには、特別職給料等審議会へ*諮問を依頼する必要があります。当委員会で諮問する内容を協議し、その後全協を開催し、先の具体的金額、根拠、財源という内容で依頼することに決まりました。

今後は、審議会の答申結果を全協で協議し本会議で審議されることとなります。町民の皆さんのご理解をいただくためにも慎重に協議していききたいと思います。

*諮問とは…意見を尋ね求めること



所管事務調査を「通学路の安全性について」としました。各学校は通学路の安全点検を実施しています。その結果を町はどう生かし対応しているのか調査しました。児童生徒が、日々安全に安心して通学し、学校生活を送れるように、現状や対策、課題等を18項目の質問事項にして提出しました。担当課より説明を受けたあと、質疑応答を行いました。後日、現地視察が必要な箇所、10カ所を視察しました。



【主な質問内容と教育総務課長からの回答】

- Q. 各学校から危険箇所の情報があった場合の対応は。
A. 対応可能なものは対応している。また、先生方と現場に行き確認している。
- Q. 保護者だけでなく、危険に気づいた人が報告できる仕組みは。
A. 直接報告があれば、合同点検とは別に見回りを行うなど、対応している。
- Q. 夜間の通学点検も必要だと思うが。
A. 小学校は日没までに下校することが基本的な考え方。部活がある中学校は意見を聞きながら対応する。

など18項目

【主な現地視察場所】

- 県道58号要害バス停付近
- 菖蒲田浜駐車場横断歩道付近
- 君ヶ岡公園付近の車道や歩道 など10カ所

これまでの調査から、現状や課題をもとに建設課・防災対策室・政策課に対して16点の項目を質問し回答をいただきました。その一部を紹介いたします。

問 県道沿線、広場からの導線、遊休地を活用した面的な多目的広場周辺を考えた細部にわたる有効な土地利用も含めた適正計画を作り、土地利用だけでなく時間軸の管理も実施できるようにし、町の賑わいづくりに今一歩進めるべきと思うが、

答 政策課長 賑わいづくりを進めていくためには、未利用地を利用するための計画が必要と考える。国の制度や財源の情報を収集していきたい。



有効利用を探る

問 どのような広場にしたい。関係人口を増やすのか。来場者が金を下ろして町の利益になるような施策は。

答 政策課長 花洲のプロジェクトが民間で進んでいる。菖蒲田でもマルシェをしている団体がある。

問 地元の店と提携してバーベキューができる事業を展開すべきなのは。

答 建設課長 現在考えていない。今の形を利用したイベントを提案していきたい。

答 政策課長 町民の賑わいの創出と利益につながる事業を考えていく。

今後も、住民が十分に満足できる広場となるために課題を抽出します。

あなたの声 動かす



第19回議会報告・懇談会 5月20日(土)・21日(日)開催

みなさんからの
ご意見・ご要望



空き家空き地解消を

- 空き地活用に企業誘致を。将来が不安。
- 空き家が増える傾向にあるが対策は。

その他

- 助成金の予備費扱いで緊急時に活用できないか。
- 地区補助金制度の見直しは。
- 補助金一本化で柔軟な活用を。
- 補助金申請や施設予約をデジタルで。
- 選挙立会人制度の見直しを。

道路事情改善

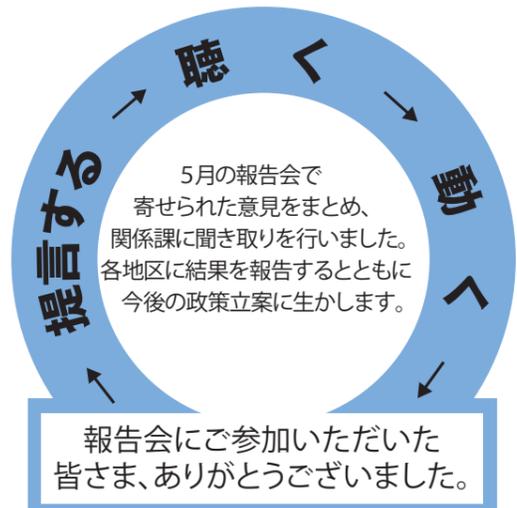
- 歩道と車道の段差解消と普及するシニアカーの通行可能な幅員の確保や横断歩道マークの設置を。
- 狭隘道路の解消は遊歩道整備でできないか。
- 街区道路の舗装修繕の計画は。
- 通学路や歩道への駐車が見られる箇所がある。また、複雑な形状をしている交差点で見通しも悪く通学路の安全性が確保されていないので改善を願う。
- 通学時間帯のダンプの往来を何とかできないか。
- 事故が頻繁に発生する交差点の対策を。

子どもたちの環境づくり

- 小中学校の一貫教育は。
- 地区民運動会は不評で参加者も少なく、地区のコミュニケーションを深める運動会にはなっていないのでは。
- コミュニティースクールの実施は。
- 待機児童の把握を相談件数でとらえては。

観光施設の充実

- 観光プロデュースできる組織体制を。
- ながすか多目的広場の出店を促し賑わい創出を。
- 魚の地産地消がなされていないのでは。
- 鼻節神社付近への駐車場やトイレの設置は。
- 観光地のトイレが汚いので改善を。





今回の表紙 元気いっぱい 汐見小学校



写真左から鈴木凜さん、吉田のぞみさん、ハリントン・クリアさん

今回の表紙は、汐見小学校での下校見守り放送収録の様子です。七ヶ浜町の全小学校では、2019年より、下校見守り放送を町の防災行政無線を活用し実施しております。以前は放送室で収録しておりましたが、現在はタブレットを使用しております。

子ども達の安全を守るためには、地域の皆さまのご協力が必要です。今後とも皆さまのご理解とご協力を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

下校見守り放送のアナウンサーになった感想は。

凜さん：やってみようかなで、やってみたらうかったので、びっくりしました。

のぞみさん：ちょっとうれしかったです。安全な下校を呼びかけるために何回も練習したからです。

クリアさん：本当に私の声流れることが信じられなかったです。

登下校のときに困ったことや心配なことは。

凜さん：はちがでるところがあるので、はちをくじよしてほしいなと思いました。

のぞみさん：がいどうを増やしてほしいです。暗い所を歩く時怖い感じがするからです。

クリアさん：夏になると、通学路にはちがいっぱい出ること。

収録本番の時に心掛けていたことや特に練習したことは。

凜さん：明るく声を出したり、ゆっくりおちついて言ったことです。

のぞみさん：台本をたくさん見返しました。ゆっくりでいいいに呼びかけるように読みました。

クリアさん：みんながこの放送を毎日聞くと考えるとすごくドキドキしました。聞いた人がうれしい気持ちになれるような放送にしたいと練習しました。

学校生活での楽しいことは。

凜さん：友達といっしょに自由タイムにあそんだり、タブレットを使って学習するときです。

のぞみさん：友達と会うことが楽しいです。修学旅行では、友達と協力出来て楽しかったです。

クリアさん：授業で自分の意見を発表して友達に聞いてもらう時。

地域の方々へ伝えたいことは。

凜さん：登下校のとき、あたたかく見守り、あいさつをおねがいします！

のぞみさん：いつもありがとうございます。町を支えてくれて私達は安全に過ごせています。

クリアさん：七ヶ浜の、友達も、海も、みんな大好きです。

将来の夢は

凜さん：べんごしか学校の先生になりたいです。

のぞみさん：お金もち。自分で会社を作りたい。

クリアさん：学校の先生になりたいです。特に算数と音楽の先生になりたいです。

町や議会に対して意見や要望は。

凜さん：七ヶ浜町内に、もっとあそぶせつがほしいです。(室内アスレチック)

のぞみさん：給食のデザートの日をもっとふやしてほしいです。

クリアさん：地域の人達といっしょに参加できる、大きいお祭りをやって欲しいです。

クイズ？

前号の第155号をもちまして、クイズの掲載を終了いたします。これまで、たくさんのご応募とご意見ありがとうございました。

第155号の当選者：

稲田陽一さん、及川幸一さん、森川京子さん

☆議会を傍聴してみませんか☆

— 9月会議は9月25日開会予定です —

詳しくは議会事務局 (Tel.357-7435)

または、町ウェブサイト

「町民便利帳」をご覧ください。

<http://www.shichigahama.com>



発行責任者
議長

岡崎 正憲

副委員長 仁田 秀和
委員 渡邊 淳
副委員長 佐藤 直美
広報分科会 小林 倫明
木村 明
熊谷 稔

広報広聴常任委員会

仁田 秀和

今後とも皆さまからの
負託に応えるように頑張
つてまいりますので、よろ
しくお願いたします。

さて、今号はいかがでしたか。特集で議員の仕事を取り上げました。より議会の役割に関心を持って頂ければ幸いです。そして、このメンバーでの編集は今号で最後となります。これまで4年間、皆さまから多大なご理解ご協力を頂き感謝申し上げます。

編集後記



5月にコロナ感染症が2類から5類へ移行され、これまで中止になっていたイベントや行事も緩和されました。コロナが完全に収束し笑顔あふれるコミュニティが復活することを願うばかりです。